



2015年2月3日

各位

会社名 日産化学工業株式会社  
代表者名 取締役社長 木下小次郎  
(コード番号 4021 東証第1部)  
問合せ先 経営企画部 主席 松岡健  
(TEL 03-3296-8320)

## アンモニアの原料転換と特別損失の計上について

当社は、アンモニア事業の構造改革の一環として、富山工場で生産しているアンモニアの原料をナフサから天然ガスに転換することを決定するとともに、これに伴う特別損失を計上いたしましたので、下記の通り、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 原料転換

富山工場では、1928年に水の電気分解によるアンモニア製造を開始し、その後、石炭、重油、原油を原料とする製法を順次導入しながら事業環境の変化に対応してまいりました。1960年代に入り、アンモニア需要が急増したことから、1967年、設備の大型化および合理化を目的に、現在の製法であるナフサ法に切り替えました。その原料となるナフサにつきましては、当社が敷設した富山港から富山工場まで全長約14キロメートルのパイプラインを通して受け入れております。

このたび、天然ガスを安定的に調達できる目途がついたことから、アンモニアの原料転換を決定いたしました。ナフサに比べて価格変動幅が小さい天然ガスを原料とすることで、アンモニアをはじめ、尿素、メラミン、硝酸など各種誘導品の収益安定化を図ってまいります。

#### 2. 業績への影響

本原料転換に係る工事の積算金額は1,090百万円であり、2016年8月の完工を予定しております。

また、現在使用しているナフサのパイプラインは、工事完了後不要となるため撤去することとし、2015年3月期第3四半期において、その概算費用704百万円を特別損失に計上いたしました。

今期の業績に与える影響につきましては上述の通りですが、業績予想の修正を要する場合には、速やかにお知らせいたします。

以上